



## 学校支援地域本部事業を活用した 授業実践について

大館市立第一中学校 教諭 須合 康  
教諭 熊澤 理津子

### 1 はじめに

平成24年2月に、学校支援地域本部事業を核にして、本校が今まで実施してきた「ふるさと教育」、「キャリア教育」から「ふるさと・キャリア教育」の視点で捉え直して充実させ、ふるさと大館を好きになり、大館に根ざして生きようとする気概と、自分の将来を見つめ夢・志をもつことができる生徒の育成を目的とし、ふるさと・キャリア教育推進校議会を設立した。特に、地域の教育資源の積極的な活用と学校がもつ教育機能を地域に還元するという学校と地域の双方向の連携を深めていくことを大切にして取り組んでいる。

様々な取組を計画・実施するに当たっては、学校の担当者と打合せをしながら、学校支援地域本部事業コーディネーターを中心に、それを支える保護者ボランティア(4名)等で進めている。

### 2 今年度の取組(本校ホームページに掲載)

#### (1) 地域から学校へ

- ① 鳳雛講座での活用(今年度は、第93回～第107回の15講座)
  - ・記念の100回目は、大館市長をお迎えし講座を開催。
- ② 授業での活用
  - ・技術・家庭科の技術分野の「部品加工・組立て」「はんだづけ」で、大館工業高校3年生を活用。また、家庭分野の「浴衣の着方」「だまこ作り」「読み聞かせ」で、保護者や地域の人材を活用。
  - ・音楽科の「琴」の授業で、大館人材名簿を利用して、地域の人材を活用。等
- ③ その他の行事での活用
  - ・凶南タイム学び開き、開校記念集会で秋田職業能力開発短期大学の校長先生等に講演を依頼。
  - ・PTA早朝親子ボランティアに、城西地区町内会の地域の方が参加。等
- ③ 部活動での活用
  - ・運動部の技術指導のために、外部指導者として活用。(通年)
  - ・合唱部の指導、科学部の星座観察指導のために、地域の人材を活用。

#### (2) 学校から地域へ

- ① 教育活動での交流(家庭科の保育園訪問、大館高等学校生徒会との交流、城西フェスティバルへの参加)
- ② ハチ公スノーレンジャーへの登録・協力
- ③ 地域の行事等への参加(大文字踊り、大館市祭典、子どもハローワーク等)

### 3 授業実践例

#### (1) 技術・家庭科(技術分野)

##### ◇大館工業高校生を活用した授業例

- ・1年生 題材名「生活に役立つものを製作しよう」学習内容「部品加工・組立て」  
地域人材：大館工業高校生6名(土木・建築科)

1年生において、木材を中心とした製作を行っている。そこで、専門的な知識と技能をもっている工業高校生を招き、支援してもらうことで、生徒の

知識と技能をもっている工業高校生を招き、支援してもらうことで、生徒の技能の向上を図ることをねらいとした。

- ・ 2年生 題材名「エネルギーの変換を利用しよう」学習内容「はんだづけ」

地域人材：大館工業高校生7名（電気科）

2年生において、エネルギー変換の利用として、ライトラジオの製作を行っている。そこで、工業高校生を招き、生徒に電子部品の取付けに必要なはんだづけの技術を身に付けさせることをねらいとした。



1年生「部品加工・組立て」



2年生「はんだづけ」

## (2) 技術・家庭科（家庭分野）

### ◇保護者や地域人材を活用した授業例

- ・ 1年生 題材名「自分らしく快適に着る」学習内容「日常着の活用」

地域人材：講師（斎作呉服店斎藤さん）保護者ボランティア5～7名

本校生徒が参加している大文字踊りでは、参加した女子生徒の大半が浴衣を着て参加している。生徒の和服に対する興味・関心を高めること、学習したことを地域の行事で活用できることをねらいとした。

- ・ 2年生 題材名「幼児との交流」学習内容「幼児の遊びの意義」

地域人材：市内読み聞かせサークルからボランティア4名（おはなしのもり）

読み聞かせを通して、幼児の遊びの意義について理解することをねらいとした。また、保育園を訪問し、幼児と触れ合う際に読み聞かせをすることによって幼児への関心を高め、かかわり方を工夫できることもねらいとした。



1年生「浴衣の着方」



2年生「読み聞かせ」

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・ コーディネーターに、人材探しから打ち合わせの日程までを組んでもらうことで、教師は教材研究や、授業の準備を十分に行うことができるようになった。
- ・ 専門の方に教えていただくことで、生徒たちの関心や意欲が高まった。また、生徒たちが専門的な知識や技能を学ぶことができ、教師自身も学ぶことができた。
- ・ 教師一人では対応が難しいことでも、複数の方に支援していただくことで、多くの生徒にきめ細やかに対応できた。そのことが、生徒の学びの満足感につながった。
- ・ 学校や生徒の様子を見ていただくことで、開かれた学校づくりにつながる。

### (2) 課題

- ・ 綿密な打ち合わせが必要で、その際に授業のねらいを理解していただく必要があった。